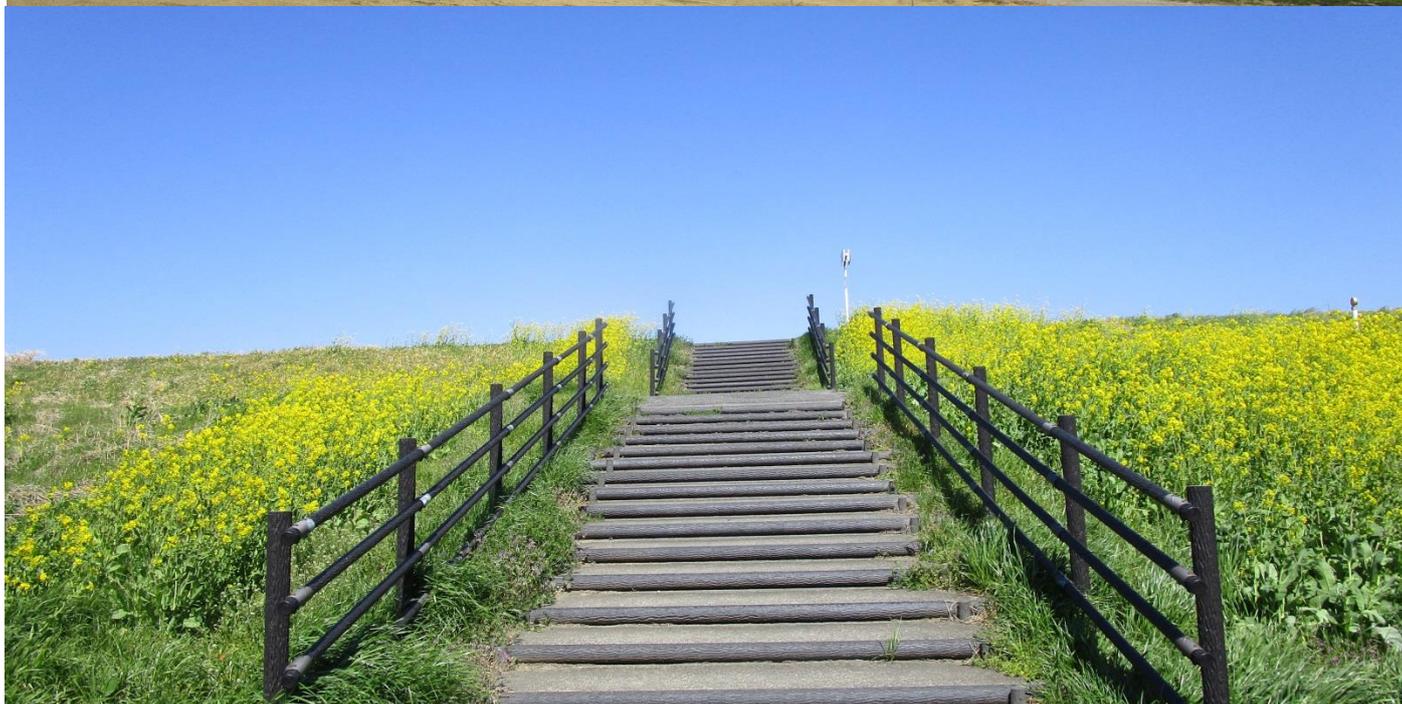


一粒の麦・ふるさと俵瀬

若き吟子が経験した利根の冬。寒冷な冬の利根川と吟子の熱き生命が密着に関わり合う。冬には赤城山からの寒冷な“赤城おろし”が吹き付ける。夏は豪雨による洪水にさいなまれる“水場の地”であったこと。このような自然の特徴が吟子の生命と強い精神力を育てたのでしょ。冬を乗り越え、春になると熊谷の俵瀬の土手沿いには 無数の菜の花が咲きます。対岸を眺めると群馬の春めいた風景があります。赤城おろしが止み春の彩りを感じする、利根の恵みです。



荻野吟子記念館 所在地 埼玉県熊谷市俵瀬 581-1

Copyright (C) 2019 oainoainkokinenkan All Rights Reserved.



映画のロケで志方之善役の山本耕史さん（中央）と共演する素小の児童ら、熊谷市俵瀬

「一粒の麦 荻野吟子の生涯」（山田火砂子監督）の撮影が、4月から県内などで行われている。27日には吟子が生まれた熊谷市俵瀬でロケがあり、地元の子どもたちもエキストラとして出演。郷土の偉人への理解を深め、映画の完成に期待を寄せた。
2019.04.28

